運営目標	目標の内容	達成	区分	達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	未達成となった要因・理由
~_ H H I/	H MAN L 1 H.		細目		NEWC'S JUST HE
	【主要目標】丹後産コシヒカリ <u>4</u> <u>年連続「特A」評価獲得</u>	×	×	・22年産食味ランキング <u>「A」</u> 評価	登熟期間中の高温がもたらした品質低下 による食味低下
	高度施肥管理技術の実証ほの設置 5箇所、技術研修会の開催 ・開催回数 4回		0	・実証ほ 5箇所設置 ・互見会や検討会等技術研修会 <u>4回開催</u> <u>(6/21,7/14,8/26,2/9)</u>	
	管内生産農家に対する気象状況、 病害虫発生状況、水稲生育状況等 に栽培管理の情報配信 ・配信回数 <u>15回</u>		0	・メール配信回数 <u>22回</u>	
丹後産コシヒカリの4年連続 「特A」の獲得、消費者への 旨い丹後米PR	食味を重視した品質向上の気運づくりと良食味米生産技術の普及定着を目的とした食味コンテスト・参加者数 60名		0	·参加者数 <u>7 7</u> 名	
	整粒率(欠けたり、割れたりせず に整っている米粒の割合)80%以 上(21実績:90%)		0	整粒率73.1%(達成率91.4%)	
	食味推定値(米の「おいしさ」を 数値化したもの。70が平均点)90 以上(21実績:90)		0	食味推定値84.4% (達成率93.8%)	
	消費者への田植え及び稲作体験 (計2回、参加者100名)		×		申し込み抽選後のキャンセルもあり、参 加者の数が伸びなかった。

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
Æ G L W	H IWANE 1.E.		細目	(数値目標は件数・達成率を明記) 	TEME OF TEXAS
丹後産コシヒカリの4年連続 「特A」の獲得、消費者への 旨い丹後米PR	消費地(京都市)販促キャンペーン		0	9/18 京丹後ウルトラマラソン出展、丹後米の参加賞利用の働きかけ 11/27 府農林水産フェスティバル出展 12/25 KBS京都マルシェ出展	京都市内の量販店での販促ができなかった。
	「ネーミング」及びキャラクター 募集(応募人数1000人)し、 地域団体商標登録	-	×	・管内各市町広報(12/上)、府民だより(1月)、 新聞・ラジオ(12月),駅・PAでのポスター掲示に よるキャラクター募集、丹後米PR実施。 1/26キャラクター選考会 (応募数222件、人数201人)(20%) ・地域団体商標登録 〇件(0%) 4/20 地域団体商標勉強会	地域団体商標化についてはJA京都が丹後 地域のみで商標化に踏み込めなかった。 ネーミングについては関係機関・団体と の調整ができなかった。
ブランド京野菜等の販売価格 の安定化と作業効率化による 生産者増と出荷量拡大	〈ブランド京野菜の年間出荷額〉 3.8億円(21実績:3.1億円)		×	〈ブランド京野菜の年間出荷額〉 2. 9億円(76%)	春先の低温、猛暑、1月末の雪害など、 生産環境の厳しい一年となり、出荷量が 大幅に減少した。
	みず菜出荷量 450t (21実績:390t)	-	×	みず菜出荷量 323t(72%)	同上 ・猛暑期間の播き控え ・雪害によるハウスの倒壊、生育遅延
	九条ねぎ出荷量 100t (21実績:88t)		×	九条ねぎ出荷量 74t(74%)	同上 ・猛暑期間中の病虫害発生 ・雪害によるハウスの倒壊、生育遅延

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
建 百口标	D MAN L 1 - E.		細目	(数値目標は件数・達成率を明記)	不足別にも ソル女団 ・在田
ブランド京野菜等の販売価格 の安定化と作業効率化による 生産者増と出荷量拡大	聖護院だいこん出荷量 90t (21実績:71t)	×	×	聖護院だいこん出荷量 53t (59%)	同上 ・猛暑期間の播き控え ・雪害による収穫遅れ
	〈みず菜〉 ・予約相対専作部会の拡大 30戸(H22当初:25戸) ・新規栽培者 4名		0	〈みず菜〉 ・予約相対専作部会員数 29戸(97%) ・新規栽培者 7名(175%)	
	〈九条ねぎ〉 ・新規栽培者 4名		0	〈九条ねぎ〉 ・新規栽培者数 14名(350%)	
	〈枝豆〉 ・1ha以上のモデル農家 2名 ・新規栽培者 4名			〈枝豆〉 ・1ha以上のモデル農家 2名(100%) ・新規栽培者 9名(225%)	
	〈コギク〉 ・技術研修会 4回 ・新規栽培者 4名		0	〈コギク〉 ・技術研修会 4回(100%) ・新規栽培者 7名(175%)	_

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
Æ O U W	□ 1₩ O/F 3 ·□·		細目	(数値目標は件数・達成率を明記)	不足災になりに安囚 径田
	〈京たんご梨〉 ・情報発信 4回 ・ブランド出荷率 25% (21実績:15%)		×	〈京たんご梨〉 ・情報発信 3回(75%) ・ブランド出荷率 12%(48%)	・春先の低温により、交配率が低迷。 生産量及び品質が大幅に低下した。
	<ブドウ>消費者ニーズに応じた 大粒系早生ブドウの有望品種を1 以上選定		©	有望品種 1 を選定(達成率100%)	
	<その他農業研究>加工用大カブの生理障害(水分・栄養分・温度などの過不足による障害)の原因究明と抑制技術の確立		0	22年度は生理障害の原因究明に取り組み。原因 が一定究明できた。(栽培地、品種、作型、施肥 と生理障害の発生程度) さらに、障害発生が少ない品種1品種を選定でき た。	
漁港関連施設を整備	間人漁港 供用開始	. × -	×	一部供用開始	埋立免許手続など地元調整に時間を要し た。
	藻場造成 新規 1 箇所		0	当初計画どおり着手した。海藻が付着しやすい5 月の完成を目指す。	

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
连岛口保	D.I.W.O.L.J.D.		細目	(数値目標は件数・達成率を明記) 	水産機ともりに交換・空間
丹後の魅力を的確に伝える人 材育成の実施	第4回「北京都丹後ふるさと検定」 → 受検者 150名		×	・ふるさと検定117名(78%) (21年度受検者84名)	減少傾向にあった受検者が今回は対前年 139%と増加するも目標は達成できな かった。 ・高校への受検PRでは取組内容につい ては好評であったが時期が遅く受検に至 らなかった。
	観光業関係者などを対象とする研修会・講習会の開催(府観光連盟 等と連携) → 15回開催	×		開催回数 25回(166%) ・ロコミ大使パワーアップセミナー(7講座、実践研修6回) ・第1回着地型ツアーコーディネーター講座6回 ・第2回着地型ツアーコーディネーター講座6回	
健康長寿日本一総合対策事業	特定健診→ 受診率50% (21年度受診率33%)		×	・昨年より受診率低下 31.7%	・前年度以上に精力的な啓発活動を実施したが、各市町独自の取組に差が見られたこと。(特に宮津市が低率)・未受診者層への的確なアプローチが不足だったこと。・対象者数の把握方法が市町によって差があり、現実的な数値を把握していく必要がある。
(健診等受診率向上対策の推 進)	がん検診→ 受診率50% (21年度受診率 胃25%、子宮37%、肺42%、 乳43%、大腸36%)			○管内全体では前年度よりすべて受診率微増 ・がん検診受診率(管内合計) 胃 26.0% 肺 43.4% 大腸 37.9% 乳 43.9% 子宮39.2% ○目標達成市町と未達成市町との受診率格差が大きい。 ・胃がん検診 受診率 最低 14.7%~最高 32.9% ・肺がん " 24.7%~ 56.3% ・大腸がん " 19.6%~ 50.0% ・乳がん " 25.2%~ 52.3% ・子宮がん " 13.2%~ 51.3%	同上

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
连百口馀			細目	(数値目標は件数・達成率を明記) 	↑ 産成となりに安囚・在田
健康長寿日本一総合対策事業 (健診等受診率向上対策の推 進)	健診の街頭啓発等(予防、早期発 見・早期治療問知のため、女性特 有のがんに重点) ・検診受診啓発イベントの開催 (市町・民間団体等と連携) (200人規模) ・啓発協力者200人の登録→ 「ロコミ」による住民等への啓発 ・啓発活動の実施(30回実施)	×	0	○街頭啓発などの取り組みを積極的に展開、 管内初のライトアップも実施。 検診の必要性、有用性をPRできた。 ・がんフォーラムを開催 参加人数204名 ・健診受診キャンペーン等 37回	
	食育の推進 ・食育わくわくフォーラムの開催 ・丹後の食育実践活動事例の作成		©	・食育フォーラムの開催 参加人数133名 ・事例募集14事例の応募を受け事例集作成し、保育所。学校等に広く普及(配布箇所約200) ・食育キャラクターやお魚媒体等の普及と活用(リーフレットや保育所巡回栄養指導媒体に活用) ・「伝えたいたんごの味」報告活動集の作成と配布(食改活動支援として郷土食を生かした食育の推進) ・教育局や農林商工部と連携した料理教室や交流会の実施(3回)	
子育て支援対策の推進	医療機関・福祉施設の院内保育所 の新設 (4箇所→ <u>6 箇所</u>)		×	・京丹後市内の特養で施設内保育所開設(<u>1箇</u> <u>所</u>)	・京丹後市内の病院と与謝野町内の病院 で開設を準備したが、工事が遅れ、年度 内開設に至らなかった。(4月にはオー プン予定)
	病後児保育の新規実施 (0箇所→ <u>1 箇所</u>)	×	×	・実施できなかった。	・管内で年度内実施に向け予定していた が人員体制やスペースが確保できず、開 設が困難。

運営目標	目標の内容	達成	区分	達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	未達成となった要因・理由
建日日 協	口源のドル		細目		不足級になりた女凶 を田
子育て支援対策の推進	市町・NPO等との交流フォーラムの開催		0	・子育てフォーラムの開催(参加人数約100人) <地域カ再生プラットフオーム> 子育て支援に関わる関係者の活動支援と新たな 支援の広がりを目指して実施、多くの機関との 連携・交流が拡大(参加団体等 約40団体) ・子育てサークル・サロン情報ブックの配布	
自殺防止・消費生活の相談・ 推進 (1)管内各市町・各機関と の窓口相談の連携強化による 管内自殺者数の減少	相談機関対象の研修実施、出前語 らい等によるうつ、認知症の理解 の拡大	×	0	 ・京丹後市と共催でこころの健康づくりの講演会を開催(10月15日、128名) ・管内の各相談機関の担当職員の知識と対応能力の向上を目的に「自殺対策相談機関研修会」を開催(3月1日、85名) ・出前語らい等、こころの健康についての講演を計42回実施。 ・くらしとしごとの相談会でこころの相談を実施(11月2日、11日) 	
	市町等と連携した自殺ストップ広 報の強化		0	「丹後保健所だより」で、こころの健康コラムを連載。市町と共同で、年末及び強化月間に街頭啓発を実施 (京丹後市、宮津市、与謝野町)	
	「丹後管内自殺対策連絡会」を設置し、管内市町、関係機関相互の情報共有と連携体制を整備。		×	・連絡会は未設置。	・管内の相談機関担当者を対象にした自 殺対策研修会は開催したが、構成・内容 等について特に中心となる各市町担当課 との調整が困難であったこと。
	京丹後市の自殺予防対策の他市町への拡大		×	・京丹後市以外の市町での自殺対策についての 特段の取組ができていない。	・管内の担当課長会議等で自殺対策の取 組を依頼したが、体制その他の事情によ り、取組の実施が困難であった。

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
连 百口标	口证从		細目	(数値目標は件数・達成率を明記) 	不足成となりに安凶 左田
阿蘇海の環境改善及び環境保 全等	地域住民への阿蘇海の現状 P R 年 1 2 回	×	×	4 回実施	関係市町のイベント等と協働で実施できたのが1回にとどまった。
	環境改善行動を促進する環境リー ダーを10名養成		×	リーダー養成用DVD作成の検討や候補者のピッ クアップを実施したが、養成までは至らなかっ た。	研修会の開催の働きかけが不十分であった。
	清掃活動の支援 2回開催		0	協働会議による全体清掃の実施、カキ殻回収の実 施、天橋立一斉清掃への参加など	
	アサリ垂下育成技術(養殖技術)等 を確立する。		0	アサリ垂下育成技術の基礎技術を確立し、漁業者による実証試験を11月から開始した。ミヤベモクの海面育成技術の可能性を検討した。	
	宮津港海域環境創造事業(覆砂事業)を継続実施し、海底の生物生活環境を改善し自然浄化能力を高めます。		0	覆砂延長165m、面積0.7haの施工を実施した。	

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
在 百口标	□ 1¾ V/F 3 ·□·		細目	(数値目標は件数・達成率を明記)	不足場となりに安凶 径田
丹後天橋立大江山国定公園の 利用と保全の取組	犬ヶ岬園地→東屋補修完了	×	0	工事発注済	
	袖志園地(経ヶ岬)→園路整備完 了 高嶋園地→トイレ改修工事着手	*	×	袖志園地:完了 高嶋園地:工事発注準備中	積算資料収集の遅延
環境保全等の取組を推進し、 農地や農業用施設の維持管理 保全活動を支援	・ふるさとボランティア活動に取 り組みます。 (3地区)	×	×	・棚田保全活動の実施(1地区) ・上世屋での実施が豪雪のため未実施となった。 ・バッファーゾーン整備活動の実施(1地区)	豪雪のため未実施となった
	・企画公募型ふるさと保全活動を 実施します。 (1地区)		0	・棚田フォーラム開催(1地区)	
歩行者等の安心・安全を確保 する道路整備を進めます。	国道178号(宮津市里波見) → 用地買収		×	用地測量着手済	用地交渉難航
	国道312号(京丹後市久美浜町 永留~橋爪) → 用地買収、築造工事		×	用地未買収工事着手	用地交渉難航

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末)	未達成となった要因・理由
左百口 據	日保の行台		細目	(数値目標は件数・達成率を明記)	不足成となりた安囚・ 座田
	加悦岩滝自転車道線、田井大垣自 転車道線 → LED照明設置	×	0	設置済	
歩行者等の安心・安全を確保 する道路整備を進めます。	国道482号(丹後町大山) → 用地買収 (完成予定箇所)		0	用地買収概成	
	国道482号交通安全(丹波~荒山) → 歩道設置工事完成		0	工事完成	
	サポーターズクラブ会員 1 万人達成に向けて、平成22年度のサポーターズクラブ会員、トレインオーナー 年間 5,000人達成を目指します。		×	4, 063人(サポーターズ2, 213人、トレイン1, 850 人)	サポーターズクラブ等の立ち上げからある程度時間も経過し、入会特典が陳腐化 し、組織意義が不明確となっている。
	府広報誌やFMたんご、関係市町 広報誌により、管内全世帯に利用 PRを実施(管内全世帯)	×		局広報紙年2回、府民だより丹後版年4回、管内 市町広報紙にKTR記事を掲載	
	峰山・宮津総合庁舎での会議開催時には、KTR時刻を考慮するなどし、職員のKTR利用を促進するとともに、その利用実態を把握		×	利用促進対策についてオフサイトミーティング等 を活用し、意見集約 府主催会議についてKTR到着時刻に配慮した時 間設定を推進 利用実態の把握に至らなかった。	職員への周知徹底が図られていなかった